

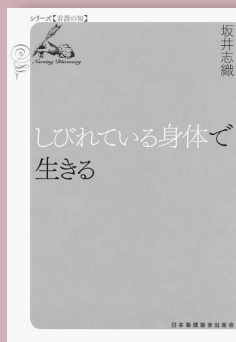
今月の 新刊紹介



ワタナベダイチ式！ 両親学級のつくり方

著：渡辺大地
発行：医学書院
定価：本体 2400 円＋税

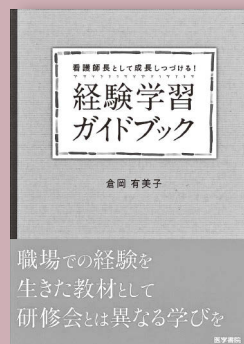
年間 100 本以上の講演を担当する著者が、両親学級の運営に必要な考え方・スキル・コツをレクチャー。両親学級で伝えるべき内容、プログラムの組み方など、満足度の高い学級を開催するための知識に加え、著者が取材した全国 11 か所の病院や助産院の両親学級を紹介するなど、お手本となる現場のノウハウが満載。



しびれている身体で生きる

著：坂井志織
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 3000 円＋税

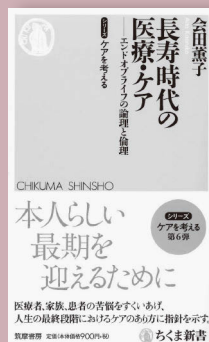
患者の苦悩の大きさにもかかわらず、医療者からの理解が得られにくい「しびれ」の症状。本書では、「しびれ」とは何かを問い直し、現象学的な視点から当事者の経験を記述していく。そして、「しびれている身体」の成り立ちや意味を考察することで、「しびれている身体で生きる」ことの本質に迫る。



看護師長として成長しつづける！ 経験学習ガイドブック

著：倉岡有美子
発行：医学書院
定価：本体 2500 円＋税

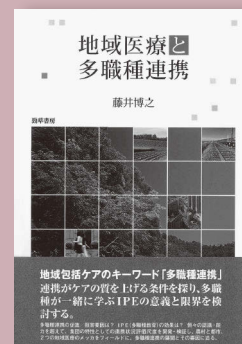
看護師長が持つ臨床現場でのたくさんの「経験」を生きた教材とし、学ぶためのツールとして「経験学習ノート」を紹介する。ノートに言葉にして紡ぐことでより深い内省が得られ、経験を確実に学びへとつなげる。さらに学びを深めるために、フィードバックを得る方法についても解説した。



長寿時代の医療・ケア エンドオブライフの論理と倫理

著：会田薫子
発行：筑摩書房
定価：本体 900 円＋税

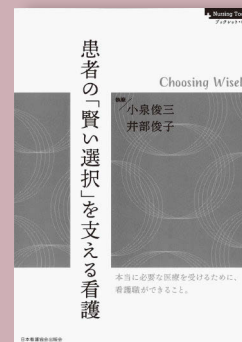
臨床倫理を牽引する著者が、医療・ケアの現場を丹念に調査し、医療者、患者、家族の苦悩をすくいあげ、人生の最終段階における医療はどうあるべきか、その考え方を示す。老年医学と臨床倫理の知見を踏まえつつ、超高齢社会における医療とケアの役割を整理する。



地域医療と多職種連携

著：藤井博之
発行：勁草書房
定価：本体 5000 円＋税

多職種連携の質を高める教育手法 IPE に着目し、意義と役割、適用限界を検討した。医療機関をフィールドに、多職種連携の促進・阻害要因、IPE が連携にもたらす効果、また多職種連携を個人の認識や能力ではなく、地域や集団の持つ特性として測定する尺度を開発・検証。



患者の「賢い選択」を支える看護 Choosing Wisely

著：小泉俊三、井部俊子
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 700 円＋税

ポリファーマシーや、抗菌薬の不適正使用に象徴される過剰医療の是正を目的とする「Choosing Wisely」キャンペーン。本書では、その起源と展望を概観し、看護界への提言を行う。患者にとって本当に必要なケアとは何か、「賢い選択」を支援するために、看護職に何ができるかを問う 1 冊。